

第 2 回 豊明市立地適正化計画策定委員会 議事要旨

日 時	2019年7月22日(月) 13:30~15:20																																		
場 所	豊明市役所 本館3階 会議室1																																		
議事骨子	1. 開会 2. 昨年度の検討状況の報告 3. 議題 (1) 誘導区域(都市機能・居住)について (2) 誘導施策について (3) その他 4. 閉会																																		
配付資料	・次第、豊明市立地適正化計画策定委員会名簿 ・資料1 昨年度の検討状況の報告 ・資料2 誘導区域(都市機能・居住)について ・資料3 誘導施策について																																		
委員	○12名中11名出席																																		
■出席 □欠席	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;">所 属</th> <th style="width: 40%;">氏 名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>■ 名古屋学院大学 現代社会学部長 教授</td> <td>井澤 知旦</td> </tr> <tr> <td>■ 社会福祉法人豊明市社会福祉協議会 会長</td> <td>加藤 誠</td> </tr> <tr> <td>■ 豊明市商工会 事務局長</td> <td>横山 孝三</td> </tr> <tr> <td>■ 名古屋鉄道株式会社 鉄道事業本部 計画部 計画課長</td> <td>成瀬 友晃</td> </tr> <tr> <td>■ 名鉄バス株式会社 運行課長</td> <td>吉岡 実</td> </tr> <tr> <td>■ 独立行政法人都市再生機構中部支社 都市再生業務部次長</td> <td>小林 康彦</td> </tr> <tr> <td>□ 学校法人藤田学園 藤田医科大学教授 地域連携教育推進センター長</td> <td>石原 慎</td> </tr> <tr> <td>■ 学校法人桜花学園 名古屋短期大学教授</td> <td>小島 千恵子</td> </tr> <tr> <td>■ 愛知県建設部都市計画課 課長</td> <td>片山 貴視</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">代理 課長補佐 伊藤 俊司</td> </tr> <tr> <td>■ 愛知県尾張建設事務所 企画調整監</td> <td>林 克生</td> </tr> <tr> <td>■ 豊明市行政経営部長</td> <td>藤井 和久</td> </tr> <tr> <td>■ 豊明市市民生活部長</td> <td>馬場 秀樹</td> </tr> </tbody> </table>	所 属	氏 名	■ 名古屋学院大学 現代社会学部長 教授	井澤 知旦	■ 社会福祉法人豊明市社会福祉協議会 会長	加藤 誠	■ 豊明市商工会 事務局長	横山 孝三	■ 名古屋鉄道株式会社 鉄道事業本部 計画部 計画課長	成瀬 友晃	■ 名鉄バス株式会社 運行課長	吉岡 実	■ 独立行政法人都市再生機構中部支社 都市再生業務部次長	小林 康彦	□ 学校法人藤田学園 藤田医科大学教授 地域連携教育推進センター長	石原 慎	■ 学校法人桜花学園 名古屋短期大学教授	小島 千恵子	■ 愛知県建設部都市計画課 課長	片山 貴視		代理 課長補佐 伊藤 俊司	■ 愛知県尾張建設事務所 企画調整監	林 克生	■ 豊明市行政経営部長	藤井 和久	■ 豊明市市民生活部長	馬場 秀樹						
所 属	氏 名																																		
■ 名古屋学院大学 現代社会学部長 教授	井澤 知旦																																		
■ 社会福祉法人豊明市社会福祉協議会 会長	加藤 誠																																		
■ 豊明市商工会 事務局長	横山 孝三																																		
■ 名古屋鉄道株式会社 鉄道事業本部 計画部 計画課長	成瀬 友晃																																		
■ 名鉄バス株式会社 運行課長	吉岡 実																																		
■ 独立行政法人都市再生機構中部支社 都市再生業務部次長	小林 康彦																																		
□ 学校法人藤田学園 藤田医科大学教授 地域連携教育推進センター長	石原 慎																																		
■ 学校法人桜花学園 名古屋短期大学教授	小島 千恵子																																		
■ 愛知県建設部都市計画課 課長	片山 貴視																																		
	代理 課長補佐 伊藤 俊司																																		
■ 愛知県尾張建設事務所 企画調整監	林 克生																																		
■ 豊明市行政経営部長	藤井 和久																																		
■ 豊明市市民生活部長	馬場 秀樹																																		
事務局	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">部 署</th> <th style="width: 30%;">職 名</th> <th style="width: 40%;">氏 名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参事(経済建設部担当)</td> <td></td> <td>小森 賢一</td> </tr> <tr> <td>経済建設部</td> <td>部長</td> <td>宇佐見 恭裕</td> </tr> <tr> <td>経済建設部</td> <td>次長</td> <td>若林 博志</td> </tr> <tr> <td>都市計画課</td> <td>課長</td> <td>中野 忠之</td> </tr> <tr> <td>都市計画課</td> <td>課長補佐兼計画建築担当係長</td> <td>後藤 明紀</td> </tr> <tr> <td>市街地整備課</td> <td>課長</td> <td>川島 康孝</td> </tr> <tr> <td>市街地整備課</td> <td>計画推進担当係長</td> <td>野村 和義</td> </tr> <tr> <td>市街地整備課</td> <td>主事</td> <td>池村 貴司</td> </tr> <tr> <td>豊明市市街地整備アドバイザー</td> <td></td> <td>河北 裕喜</td> </tr> <tr> <td>その他(玉野総合コンサルタント株式会社)3名</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	部 署	職 名	氏 名	参事(経済建設部担当)		小森 賢一	経済建設部	部長	宇佐見 恭裕	経済建設部	次長	若林 博志	都市計画課	課長	中野 忠之	都市計画課	課長補佐兼計画建築担当係長	後藤 明紀	市街地整備課	課長	川島 康孝	市街地整備課	計画推進担当係長	野村 和義	市街地整備課	主事	池村 貴司	豊明市市街地整備アドバイザー		河北 裕喜	その他(玉野総合コンサルタント株式会社)3名			
部 署	職 名	氏 名																																	
参事(経済建設部担当)		小森 賢一																																	
経済建設部	部長	宇佐見 恭裕																																	
経済建設部	次長	若林 博志																																	
都市計画課	課長	中野 忠之																																	
都市計画課	課長補佐兼計画建築担当係長	後藤 明紀																																	
市街地整備課	課長	川島 康孝																																	
市街地整備課	計画推進担当係長	野村 和義																																	
市街地整備課	主事	池村 貴司																																	
豊明市市街地整備アドバイザー		河北 裕喜																																	
その他(玉野総合コンサルタント株式会社)3名																																			
傍聴者	なし																																		

1. 開会

川島課長

本日はお忙しいなか、またお足元が悪いなか、お集まりいただきありがとうございます。司会を務めさせていただきます豊明市市街地整備課の川島と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。本日は石原委員が欠席されておりますが、委員12名のうち11名の方に出席していただいているため、設置条例第6条第2項により委員会が成立していることをご報告いたします。本日は事務局及び玉野総合コンサルタント株式会社の担当者も同席させていただいており、必要に応じて発言の機会をいただくことがございますのでご理解のほどよろしくお願い申し上げます。それでは、委員会に先立ちまして、井澤委員長よりご挨拶をお願いします。

井澤委員長

皆さんこんにちは。本日はお忙しいなかお集まりいただきありがとうございます。連日雨が続き、梅雨明けが待ち遠しい今日この頃でございますが、本日は令和になって初めての立地適正化計画策定委員会を開催することができました。少子高齢化に伴う人口減少が進む日本のなかで、豊明市をどうしていくのかという非常に重要なテーマを扱う計画ですので、本日は皆さまから貴重なご意見をいただきたいと思っております。よろしくお願い申し上げます。

川島課長

ありがとうございました。

2. 昨年度の検討状況の報告

※資料説明（資料1）及び質疑応答

横山委員

ドラッグストアの立地状況の図について、ドラッグストアと人口メッシュの色が同系色で分かりにくいいため、修正していただきたい。

事務局

意見を参考に修正します。

小林委員

拠点としている豊明団地は、豊明市地域公共交通網形成計画において交通ネットワークでつなぐ拠点に含まれていないため、立地適正化計画で拠点として位置付けるのであれば交通ネットワークでつなぐ拠点としての位置付けも地域公共交通網形成計画で必要ではないか。

事務局

本計画では、都市マスでの位置付けを踏襲し5つの拠点を基本としており、藤田医科大学の間接的な拠点として豊明団地を位置付けています。豊明団地は前後駅と藤田医科大学をつなぐ基幹的公共交通路線上に位置しているため、交通ネットワークでつながっていることとなります。

吉岡委員

前後駅と藤田医科大学をつなぐ路線は、利用者数が多く、名鉄バスの中でも成長している珍しい路線で、今後増便等も検討している。

3. 議題

（1）誘導区域（都市機能・居住）について

※資料説明（資料2）及び質疑応答

伊藤委員

都市機能誘導区域は、都市機能が充実することによりサービスの利便性が高くなることは理解できるが、都市機能誘導区域に含まれない居住誘導区域の人々のサービスの利便性はどのように考えているのか。資料2では、居住誘導区域を市街化区域から災害リスクのある地域を除外しただけで設定しており、居住誘導区域の設定根拠が弱いと感じる

	ため、設定における考え方があれば教えていただきたい。
事務局	現在、居住誘導区域は大きく3つの考え方にに基づき設定しています。1つ目は、豊明市の市街化区域内の人口密度は県内でも非常に高く、20年後を見てもほとんどの地域で60人/haの人口密度が維持されます。2つ目は、駅から離れた地域でも、住宅地として土地区画整理事業で整備されているところが多く、道路等の基盤は整っています。3つ目は、駅から離れた地域でも市街化区域内のほとんどを公共交通でカバーできています。これらの豊明市の状況に基づき居住誘導区域の設定をしています。
井澤委員長	豊明市の市街化区域は都市構造評価でも全国地と比較し偏差値60程度の評価を得ているため、市街化区域全域を指定してもよいと判断でき、その中で土砂災害特別警戒区域等の居住誘導区域にふさわしくないと判断される地域を除外しているため、納得のいく設定だと思う。
伊藤委員	設定した理由等を、居住誘導区域の設定の考え方のなかで整理された方がよいと思う。
井澤委員長	昨年度の資料をうまく活用し、設定条件の説明をしていただきたい。
林委員	都市機能誘導施設の設定について、防災としての機能についてはどのように考えているのか。防災拠点の設定にもつながるのではないか。 また、資料1で中京競馬場前駅周辺を歴史と文化の交流拠点としているが、教育・文化機能の誘導施設は設定されておらず関連していないのか。
事務局	居住誘導区域、都市機能誘導区域の設定にあたり、災害リスクが高いエリアは除外して設定しているため、防災拠点等の設定は考慮しないこととしています。 中京競馬場前駅周辺については、桶狭間古戦場の伝説地であり歴史的資源のある場所として都市計画マスタープランのなかで拠点として位置付けています。立地適正化計画では都市機能の誘導施設の設定は国の指針に基づき設定しており、歴史・文化については本市では施設の設置等のハード面は想定していません。市としては、総合計画や都市マスに基づきイベント等のソフト面から拠点性を向上させることとしています。
井澤委員長	古戦場をイメージするような施設は想定していないということか。
事務局	現状でも施設はありませんし、今後も新たな施設の予定もありません。
井澤委員長	防災の視点について、豊明市でも防災計画を策定していると思うが、それとの整合はとれているのか。都市機能の誘導と防災性の向上の整合性についてどこかで整理する必要があると思われる。
事務局	一度事務局で整理し検討します。中京競馬場前駅周辺については、都市計画マスタープランのなかで、地域拠点として日常的な生活サービスの施設等の立地を誘導し、地域住民の暮らしを支える拠点を形成していくとともに、歴史・文化を広く発信し、広域から観光客を呼びこみ多様な交流が生まれる拠点として位置付けています。立地適正化計画においても、この位置付けに基づき地域での生活を中心とした機能を誘致していきたいと考えています。
小島委員	歴史と文化の交流拠点について、本学には信長坂という坂があり多くの観光客が来られているため、市と連携することでより有効活用できると思われる。また、居住誘導区域に含まれている附属幼稚園をこども園にする話があり、子育て支援の拠点としての整備も充実している。立地の関係で名古屋市から通っている園児が多く、豊明市との連携に課題もあるが、都市機能の一端を担える可能性があると思われる。

事務局	都市機能誘導区域に含める検討は可能ですが、大学への入り口が名古屋市側であり、拠点としている中京競馬場駅からの利便性が悪いため、都市機能誘導区域から外しています。
井澤委員長	立地条件等の課題はあるが非常に前向きな意見であるため、一度事務局で検討していただきたい。
事務局	意見を参考に検討します。
加藤委員	高齢者福祉（介護福祉）機能について、障がい者の方々への対応も含めて検討するべきではないか。豊明市においても多くの障がい者の方々に住まわれているため、誘導施設に設定するかは別として、検討するべきではないか。
事務局	障がい者の方々への対応について、資料2の誘導施設の設定のなかに記載はありませんが、庁内作業部会で社会福祉課と協議し、障がい者施設は拠点に集約するのではなく点在したほうがよいと判断したため、誘導施設は設定していませんでした。加藤委員の意見を踏まえ、施設設定の理由のなかに障がい者の方々への対応についても記載を検討します。
井澤委員長	高齢者福祉とすると高齢者のみに対応しているように見えるため、誘導施設に設定するかは別として、障がい者への対応についての内容も記載していただきたい。
小林委員	新市街地区域について、整備後は全域を都市機能誘導区域に設定する前提で位置付けているのか。
事務局	現時点では将来的に市街化区域への編入が見込まれる間米南部地域を新市街地区域と位置付けており、都市機能誘導区域への具体的な設定については検討に至っていませんが、住宅地として土地区画整理事業で整備されるため居住誘導区域には全域を設定することを想定しています。 また、新市街地区域を中心に一つの拠点として位置付けることは想定していません。今回位置付ける5つの拠点のどこかの拡大として設定することになると想定しています。
小林委員	都市機能誘導区域について、現在は5つの拠点を位置付け、そこに誘導したい都市機能を設定し都市機能誘導区域を設定しているが、5つの拠点の性格に応じた位置付けや役割を把握したうえで必要な都市機能を誘導するといった整理のほうがよいのではないか。豊明団地では、高齢者福祉機能が将来的にも必要になると考えられるため、位置付けることが必要だと考えている。
事務局	誘導施設の設定について、意見を参考に考え方について改めて整理し、記載の表現等も検討します。豊明団地については、仮に高齢者福祉機能の誘導施設を設定した場合、他の区域では誘導しないということになるため、今後慎重に検討していきます。
小林委員	結果的に同じ誘導区域の設定になるかもしれないが、現状の考え方で設定するのであれば誘導施設に設定していない機能についても、市の施策等により利便性が確保されるといったことや、集約せずに点在させる施設と考える等、根拠が必要だと思われる。
井澤委員長	論理と根拠づけを十分整理する必要があると思われる。改めて事務局でその点を検討していただきたい。

(2) 誘導施策について

※資料説明(資料3)及び質疑応答

井澤委員長 事務局	新市街区域について、誘導施策を記載することはできるのか。 新市街区域における誘導施策の記載については他の市町村も参考に「新市街区域が市街化編入したあかつきには・・・」といった条件付きの表現になる想定しています。
横山委員 事務局	商業施設の誘導については、食品スーパー等を想定しているが拠点としている前後駅前のショッピング施設は経営が厳しく、誘導施策などの支援がなければ難しく、計画倒れになる可能性があるため、インセンティブ施策等が必要だと考えられる。 商業施設の考え方について、都市計画マスタープランのなかで「大型商業施設の立地が進む周辺都市との機能分担や連携を意識した、適切な規模の施設立地を図る必要があります。」と方向性を示しており、周辺都市と連携を図りつつ、本市の規模にあった施設立地を検討します。また、本市は公共交通の利便性がよいため、それらを活用し身近に利用できる商業地の形成を検討します。そのため、鉄道駅周辺の食品スーパー等を誘導施設として想定しています。商業地の誘導を図るためのインセンティブ施策については、今後検討し次回の策定委員会で報告します。
成瀬委員	税金を投入して支援を行うことは現状難しいため、新たな商業施設が郊外に建てられる計画が出た場合には、郊外ではなく都市機能誘導区域に立地してもらえないかといった誘導を行う方向性になると考えています。 桶狭間古戦場について、観光資源として広域的に人々を呼び込むことができ地域の活性化にもつながると考えられるため、そのような観点も踏まえ検討していただきたい。

(3) その他

事務局	第3回策定委員会の日程について、候補日として11月11日(月)の午後の時間帯を予定しています。本日欠席されている石原委員には事前に確認を得ています。皆様のご都合はいかがでしょうか。
委員一同 事務局	候補日の日程で問題ない。 ありがとうございます。詳細については後日改めてご連絡いたします。
井澤委員長	第3回策定委員会では具体的な誘導施策や進行管理等について議論をしていくことになると思いますので、よろしく願いいたします。

4. 閉会

川島課長	井澤委員長並びに委員の皆様、本日はたいへん実のあるご議論ありがとうございました。今後井澤委員長もおっしゃられたように、居住誘導区域、都市機能誘導区域の設定にあたり、十分に論理だてを行い市民の皆様にも納得のいく説明ができるよう検討していきます。また、区域の設定だけでなく施策も非常に重要であるため、庁内作業部会で協議を重ねより良い計画を作成していきたいと考えておりますのでご協力よろしく願いいたします。それでは、本日は長時間にわたりありがとうございました。これにて、会議を閉会とさせていただきます。
------	--

以上